

『環境経済学：環境・資源問題を経済学はどう捉えるか』正誤表

頁	正	誤
p.7, 表 1-1	アメリカ人が脅威と感じていた	アメリカ人が驚異と感じていた
p.8, 1 行目	アメリカ人が脅威と感じていた	アメリカ人が驚異と感じていた
p.8, 6 行目	非常に脅威であると考えている	非常に驚異であると考えている
pp.8-9	したがって	したがて
p.42, 図 2-10(a)-(c)	MC	M
p.55, 3 行目	日本では 1999 年の 4 月に改正省エネ法の下で導入された	日本では 1994 年の 4 月に改正省エネ法の下で
p.63, 図 2-20(b)	A からのクレジット購入分	A からのクレジット購入分 A
p.66, 図 2-22	A の限界費用 B の限界費用	A の限界費 B の限界費
p.67, 図 2-23(a)	最適クレジット価格	最適デポジット価格
p.69, 下から 3 行目	排出者が自主的に汚染物質の排出削減目標を設定し	排出者が汚染物質の排出削減目標を設定し、自主的に汚染物質の排出削減目標を定め
p.79, 図 3-5	2 財で定まる無差別曲線	2 財で決める無差別曲線
p.80, 図 3-6(b)	環境悪化阻止	環境悪化防止
p.80, 下から 8 行目	環境が悪化するのを阻止することに対する	環境が悪化することに対する
p.83, 図 3-8(a)及び(b)	環境財	環境税
p.88, 第 3 段落 2 行目	敷地の広さに関する変数を	敷地の広さに関する変数を
p.89, 下から 3 行目	どのようにして測ることができるかを見てみよう。	どのようにして図ることができるかを見てみよう。
p.95, 第 2 段落 2 行目	支払いを税金として課税する	支払を税金として課税する
p.106, 確認問題 2 の 3 行目	V は個人の湿地への訪問回数	V は個人の森林公園への訪問回数
p.108, 参考文献 14 と 15 の間に追加	Shabman, L.A., and Batie. S.S. (1978) Economic value of natural coastal wetlands: a critique. <i>Coastal Zone Management Journal</i> 4: 231-247.	
p.109, 注 2	Hedonic には快樂主義という意味があるが、	Hedonic は快樂主義という言葉があるが、

頁	正	誤
p.115, 表 4-3 第 1 回~25 回 締約国会議の前の部分	気候変動枠組条約	気候変動枠組条約締約
p.118, 図 4-3 (c)	A 国の排出 枠	A 国の排出
p.120, 第 2 段落 4 行目	UNFCCC C 加盟国	UNFCCC 加盟国
p.121, 上から 6, 7 行目	Meiyun Lin ら の研究 (Lin et al., 2017) によると、	Meiyun Lin et al. (2017)の研究によると、
p.124, 下から 6 行目	遺伝子の 多様性	遺伝子の多用性
p.151, 図 5-10 地球環境保全 の部分	二酸化炭素 吸収	二酸化炭素吸
p.151, 図 5-10 物質生産機能 の部分	工 芸材料	芸材料
p.157, 下から 4 行目	逡減しており ($Q''(t) < 0$)、	逡減しており $Q''(t) < 0$ 、
p.159, 第 3 段落 5 行目	最適な伐期は 3 年と	最適な伐期は 4 年と
p.171, 3 行目	漁業者の 総収入は (5.32) 式で表せる。	漁業者の総
p.179, (5.39)式の左辺	Q_{PP}^S	Q_{OA}^S
p.183, 確認問題 1 の①	p_1 と q_1 を用いて表しなさい。	p_t と q_t を用いて表しなさい。
p.183, 確認問題 1 の③	仮に$p_2 = 11$で第 2 期目以降の限界費用は無視できるものとし、 利子率が②と同じ 条件で続く とき、	価格、採掘量、利子率が②と同じ条件下にあるとき、
p.188, 下から 7 行目	よりも 郊外 の自然に囲まれた	よりも公害の自然に囲まれた
p.194, 下から 6 行目	消費量が 減る 傾向	消費量が増える傾向
p.200, 上から 8 行目	優先順位の 4 番目に出てくる熱回収は サーマル・リサイクル	優先順位の 4 番目に出てくる熱回収はマテリアル・リサイクル
p.201, 上から 6 行目	業者の 廃プラスチックの需要曲線	業者からの需要
p.201, 上から 7 行目	供給 曲線	供給量
p.210, 第 3 段落 8 行目	利他的意識を 測る 指標	利他的意識を図る指標
p.211, 1 行目	資金を 募る	資金を集う
p.214, 第 2 章確認問題 1 の図の 縦軸部分	$P^C = 4, P^M = 6$	P_C, P_M
p.214, 第 2 章確認問題 1 の図の 横軸部分	$Q^M = 4, Q^C = 6$	4, 6

頁	正	誤
p.218, 第3章 確認問題1の③	Aさんの選好が損失回避の影響を受けるとすると、Aさんは財を得る効用よりも失う効用の方を過大評価するため。森林がお金では回復できない稀少生物の生息地となっていた場合、森林の減少はお金では取り戻せない変化となり、AさんのWTAは高くなる傾向があるため。	森林保全への出費とその他の財への出費は代替関係にあり、Aさんは財を得る効用よりも失う効用の方を過大評価したため。
p.219 第3章, 確認問題2の②, 図の横軸	15	5
p.220 第3章, 確認問題3の②	多様性の度合いが2倍	環境の質が2倍
p.223 第5章, 確認問題1の③	$p_3 = 1.1 \cdot p_2 = 12.1$ 。 $p_4 = 1.1 \cdot p_3 = 13.31$ 。 $p_5 = 1.1 \cdot p_4 = 14.641$ 。	$MNB_3 = 1.1 \cdot MNB_2 = 12.1$ 。 $MNB_{34} = 1.1 \cdot MNB_{33} = 13.31$ 。 $MNB_{35} = 1.1 \cdot MNB_{34} = 14.641$ 。
p.225 第5章, 確認問題3	確認問題3	
p.225 第5章, 確認問題3の図の縦軸	森林生長量	森林成長量
p.225 第5章, 確認問題3の図	森林生長量の図の上に①を表示	
p.225 第5章, 確認問題3の③	SRMとFRM	SRMとFTM
p.225 第5章, 確認問題3の③	利子率が低い場合の方が	利子率が高い場合の方が
p.227 第6章, 確認問題1の①	バージン資源のペットボトルの供給量: 20 市場に出回るペットボトルの総供給量は、 $Q_V = -4 \cdot 2 + 32 = 24$ だが、このうちの4の数量分はリサイクルペットボトルで賄われるため、バージン資源によるペットボトルの供給量は $24 - 4 = 20$ となる。	バージン資源のペットボトルの供給量: 24 バージン資源のペットボトルの供給量 Q_V は、 $Q_V = -4 \cdot 2 + 32 = 24$ である。

2022年10月27日更新

今後も訂正箇所が加わる可能性があることご了承下さい。
訂正が必要だと思う箇所を見つけた方はこの表に随時訂正箇所を追加していきますので、[aruga\[at\]mail.saitama-u.ac.jp](mailto:aruga[at]mail.saitama-u.ac.jp) ([at]を@に変えて下さい)まで、ご連絡して下さい。